

令和5年度 静岡大学人文社会科学部
私費外国人留学生選抜試験問題

法学科

[小論文 (英文読解を含む)] (RH)

令和5年2月5日(日)
9時30分～10時50分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題用紙 (この表紙を除く)	・・・ 3枚
解答用紙	・・・ 2枚
下書用紙	・・・ 3枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じマスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

RH

次の英語による文章（文章 I）と日本語による文章（文章 II）を読んで、設問 1～3 に日本語で答えなさい。

文章 I

著作権の関係上，公表しません。

注) *を付した語句

epidemic 蔓延している

disposition 処分

referendum 住民投票

jurisdiction 管轄権

文章 II

著作権の関係上，公表しません。

〔出典〕※出題に当たり、適宜修正している。

文章 I

Elizabeth S. Scott, Laurence Steinberg, *Rethinking Juvenile Justice* (Harvard University Press, 2008)

文章 II

廣瀬健二『少年法入門』(岩波新書、2021年)

設問 1: 文章 I の下線部①「moral panic」に関して、文章 I から読み取れる「moral panic」の内容を、200 字程度の日本語で説明しなさい。

設問 2: 文章 II の下線部②「異論・反発」は、例えば、何を指しているか。文章 II から読み取り、200 字程度の日本語で説明しなさい。

設問 3: 文章 I と文章 II を踏まえ、殺人などの重大・凶悪な少年犯罪にどのように対処すべきかについて、あなたの考えを 500 字程度の日本語で述べなさい。

採点・評価基準 (具体的基準)

教科・科目名	小論文 (英文読解を含む)
実施学部・学科等	人文社会科学部法学科
出題のねらい	<p>少年犯罪に関する文章を題材として、法学科の学生に求められる和文及び英文の読解能力並びに日本語の論述能力を測ることを意図した問題である。</p> <p>設問 1: 「moral panic」とは、具体的に何を意味するのか、問題文 (英文) からその内容を正確に読み取った上で、それを日本語で的確に説明する能力を測ることを意図している。</p> <p>設問 2: 少年犯罪者への特則を設けることに対する「異論・反発」とは何か、問題文 (和文) からその内容を正確に読み取った上で、それを日本語で的確に説明する能力を測ることを意図している。</p> <p>設問 3: 英文、和文 2 つの問題文を踏まえ、重大・凶悪な少年犯罪への対応策に必要な視点や問題点について、自身の見解を日本語で明確に論述する能力を測ることを意図している。</p>
採点基準	<p>配点: 設問 1: 20% 設問 2: 20% 設問 3: 60%</p> <p>【設問 1 について】 英文の内容を正しく理解した上で、適切な日本語で説明できているか。</p> <p>【設問 2 について】 和文の内容を正しく理解した上で、適切な日本語で説明できているか。</p> <p>【設問 3 について】 配点 60% の内訳は、次の通り。論述内容が英文、和文 2 つの問題文を踏まえたものとなっているか (10%)、自身の見解が論述されているか (30%)、論述内容が日本語として適切であり、明確であるか (20%)。</p>